

■中之島にあって堂島川に面するこの建物は、通りを走る車中より目にすることが多い。歩きながら玄関に近づくと、上階の幾何学的窓パターンを背景に、徐々に濃厚となる装飾が入口廻りで頂点に達するのが見て取れる。計算し尽くされた簡潔さと装飾のバランス。近代事務所ビルの傑作といわれるこの建物の本質に触れることができる。

(笹村)

■特集予告

6月号／スケルトン&インフィル

7月号／改正建築基準法—パートII—

編集委員会 (平成12年度)

- 副会長
一 梶井 宏修
一 河津 隆之
■編集理事
一 ※近藤 正一
一 田ノ畑好幸
一 西岡 道雄
一 野口 太郎
一 堀内 一夫
一 梶井 貴廣
一 村上幸三郎
一 谷津 和久
一 山根 敏和
◎宮田 照久
■特集小委員会
□計画分科会
★計画系
伊藤 憲 幸 能美 敏男
梅田 善愛 野口 幸忠
梅村 宏尚 福井 茂和
小浦 久子 □法令分科会
※鈴木 克彦 池谷 和雄
田中 直人 亀谷 周二
紅谷 昇平 衣笠 幸一
松田奈緒子 黒木 省一
横岡 真紀 ※権名 辰雄
吉村 英祐 浜野 幸雄
★建築計画系
江副 敏史 △赤木 隆宏
大村 昌聡 浅尾 一宏
菅野 忠司 朝倉 比呂子
小林 慶子 川上比奈子
佐藤不二男 倉瀬奈千子
桜井 剛雄 寺岡 宏治
※笹村 欽也 中村 文紀
塚本 史郎 藤城 義太
所 千夏 前川 治彦
野田 隆史 牧野 雅一
服部 光宏 増田 敬彦
★(277)リア・住棟 増田 俊哉
※石川 佳子 山田 俊二
加藤 力 ■委員会小委員会
北浦かほる 福木 裕子
小堀 吉隆 大谷由紀子
小島 保人 河崎 敦一
佐藤 勝紀 △高岡 伸一
中村 孝之 高田 光雄
中村 雅人 高橋 麗子
西田 和子 辰巳 清一
畑 康之 塚口 明洋
ペリー 史子 水谷 美香
水谷 美香 □構造分科会
岩永 速典 ■監査企画小委員会
※大氏 正嗣 小幡 義明
金田 興熙 加納伸太郎
河野 隆史 勝 一弘
木下 隆嗣 小山 昭
岸本 一藏 斉藤 治久
佐治 明志 △武田 修示
園田 隆一 千葉 耕作
田中 剛 平松 勉
田辺 太一 福西 延招
陶器 浩一 前田 衛
松村 和夫 渡邊 浩文

◎委員長 △副委員長 ※幹事

印刷 2000年4月25日  
発行 2000年5月1日  
発行人 社団法人日本建築協会  
発行所 社団法人日本建築協会  
大阪市北区梅田1-13-2100  
電話 06-6348-0635  
振替口座 00910-9-39975  
印刷所 青葉印刷株式会社  
日本データネット株式会社  
定価 1200円(本体価格1143円)

CONTENTS

特集 ● 測る—測定方法と測定結果が意味するもの—

[総論] 世の中の動きが測定することを求めている ●十倉 毅 14  
[各論] コンクリートの中性化深さ ●永山 勝 16  
コンクリートのアルカリ骨材反応性 ●松浪良夫 18  
住宅の気密性能 ●中尾 正 20  
室内空気質 ●上原浩二 22  
床衝撃音 ●森本三男 24  
界壁の遮音性能 ●和木孝男 26  
地盤調査と計測 ●辻本勝彦 28  
環境振動 ●阿部隆之 30  
耐久性(鉄・防錆) ●藤城正樹 32  
吸放湿(調湿)性能及び結露の測定 ●小南和也 34  
コンクリートのひび割れ ●西田 朗 36  
防水層の劣化診断と耐久性 ●荒木 孝 38  
[展望] 新しい概念“不確かさ” ●山本英樹 40

会告 定時評議員会議決お知らせ—1.平成12年度評議員会正・副議長。2.平成12年度会長・副会長・理事—。講演会・性能規定における木造デザイナーのための木構造。なにわの海の時空間(大阪海洋博物館)見学会。まちなみ見学会④奈良市奈良町。読者アンケートにご回答下さい。第46回工高生デザインコンクール—郵便局—。 1

作品作風 京北町立京北第二小学校 6  
ワキタ本社ビル 8

gallery 有斐舎(倉淵奈千子) ●前川治彦 10  
建築の眼 電話とインターネット ●宮崎興二 麻雀 ●中山詳三 12  
要なるリアリティ ●遠藤秀平 表象B ●桑田和明

Sketch Book 各地にみる建築作品12点 42

法令コーナー 民間指定確認検査機関 ●國廣 勲 44

構造の頁 性能設計とリスクマネジメント ●篠塚正宣 45

設備の頁 大温度差ファンコイルユニット ●長 伸和 46

施工材料の頁 住宅用断熱材 ●福原豊高 47

基礎講座A 実例その1・郵便局の受付カードより ●山田 修 48

基礎講座B 誘導灯—1— ●小野慎吾 49

information 「海を渡った大工道具展in神戸」—竹中大工道具館—。パウハウスゆかりの地を訪ねて、「環境・エネルギー優良建築物マーク」。CD-ROM版「京都の街の屋外広告物」刊行。～なぜ今、ヴァンキュラーか～。2000年作品展&記念セミナー。 50

月間の動き 平成12年1月分・2月分 51、52